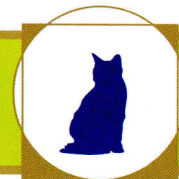


糖尿病の猫のために、
肥満のリスクがある猫のために

糖コントロール
DIABETIC

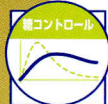
ドライ

近日リニューアル



猫用 糖コントロールは、糖尿病の猫に給与することを目的として、特別に調製された食事療法食です。この食事は、糖吸収速度の遅い炭水化物(大麦)を原料として使用し、タンパク質を増量*1しています。高タンパク質、低炭水化物、低脂肪の食事は、肝リピドーシスの猫の食事療法食としても適しています。

この食事療法食の対象



● 糖尿病

食後の血糖値の上昇を緩やかにするため、糖吸収速度の遅い大麦を使用しています。また食事時の糖質を包み込むことで糖の吸収を緩やかにするよう、可溶性食物繊維と不溶性食物繊維のバランスを調整しています。



● 減量後の体重管理

減量後の体重維持をサポートするために、エネルギー密度*3を低く設計しています。



● 肥満傾向

肥満に配慮した高タンパク*1・低炭水化物*2・低脂肪*4の設計です。



● 肝リピドーシス(自発的に摂食できる場合)

猫の肝リピドーシスを引き起こす原因である生化学的メカニズムは、完全にはわかっていませんが、肥満、タンパク質欠乏、過剰な脂質分解、過剰な脂質生成などが関連要因としてあげられています。

肝性脳症がない場合は、高タンパクの食事が推奨されません。ただし、食欲がない場合は、チューブフィーディングなどの強制給餌が必要となります。

また、肝リピドーシスの猫にみられる肥満を考慮して、高タンパク*1・低炭水化物*2・低脂肪*4に設計しています。

注意：現在インシュリン療法をしている場合には、食事の変更にあたって再度インシュリン投与量を調整してください。

※継続して使用する場合も定期的な診察を奨励しています。

成分	単位/400kcal
タンパク質*1	47.6g ↑
脂肪*4	12.4g ↓
食物繊維	11.9g ↑
灰分	6.4g
水分	5.7g
炭水化物*2	27.6g ↓
カルシウム	1.0g
カリウム	0.93g
リン	0.92g
マグネシウム	0.07g ↓
鉄	19.03mg
銅	1.55mg
亜鉛	14.38mg
ナトリウム	0.41g
EPA+DHA	310mg
L-カルニチン	20.7mg ↑
タウリン	0.22g
アルギニン	2.71g ↑
ビタミンE	51.7mg
ビタミンC	31.03mg
ビタミンB群	40.97mg

↓やや制限 ↓↓制限 ↑やや強化 ↑↑強化

代謝エネルギー ... 387kcal/100g ↓*3



規格：500g・2kg・4kg

1日の給与量の目安

1カップ=200cc

成猫の体重 (kg)	3	3.5	4	4.5	5	5.5	6	6.5	7	7.5	8
標準	45g 0.6カップ	50g 0.7カップ	55g 0.7カップ	60g 0.8カップ	65g 0.9カップ	65g 0.9カップ	70g 0.9カップ	75g 1.0カップ	80g 1.1カップ	85g 1.1カップ	90g 1.2カップ
調整範囲	最大	55g 0.7カップ	60g 0.8カップ	65g 0.9カップ	70g 0.9カップ	80g 1.0カップ	85g 1.1カップ	90g 1.2カップ	95g 1.3カップ	100g 1.3カップ	105g 1.4カップ
	最小	35g 0.5カップ	40g 0.6カップ	45g 0.6カップ	45g 0.6カップ	50g 0.7カップ	55g 0.7カップ	55g 0.7カップ	60g 0.8カップ	65g 0.9カップ	70g 0.9カップ

ここに表示されている給与量はあくまでも目安です。個体差や活動量に応じて最大値と最小値の範囲内にて調整を行ってください。



原寸大

使用が推奨されない病態等

● 妊娠/授乳期、成長期

この時期の減量は推奨されません。

原材料

家禽*5肉、大麦、超高消化性小麦タンパク(消化率99%)、コーングルテン、タピオカ、大豆分離タンパク(消化率95%)、動物性油脂、加水分解動物性タンパク、植物性繊維、チコリー、魚油、サイリウム、フラクトオリゴ糖、大豆油、マリーゴールドエキス(ルテイン源)、アミノ酸類(L-アルギニン、タウリン、L-カルニチン)、ミネラル類(K、Cl、Ca、Zn、Mn、Fe、Cu、I)、ビタミン類(A、コリン、D3、E、C、ナイアシン、パントテン酸カルシウム、B2、B6、B1、葉酸、ビオチン、B12)、酸化防止剤(BHA、没食子酸プロピル) *5 鶏・七面鳥

※調達の都合により、原材料を変更する場合がございます。

追加情報

● 給与期間は血糖症の程度によって変わります。猫の糖尿病は可逆的な疾病ですが、継続的な給与が再発のリスクを最小限にします。

● この食事のような低炭水化物食を与えると、一般的にインシュリン感受性があがります。インシュリン療法と併用してこの食事を給与する場合には、血糖値とインシュリン感受性のモニターが推奨されます。

● 肥満傾向で下部尿路疾患の猫には、「猫用 pHコントロール ライト(ドライタイプ)」もあります。

● 成猫の栄養要求を満たしています。

● 本製品の各適応に対して選択いただける他のパラエティについては、「疾病からみる適応表(P.7、P.8)」をご覧ください。